



職業講話(静浦小中一貫学校)

とき	令和5年1月31日(火)9:20~10:30
ところ	沼津市立静浦小中一貫学校 教室
対象	3年生(23名)
駿東伊豆消防本部	
	<p>消防士と聞くと、火事があったときに火を消すことがイメージされる人が多いと思いますが、その他にも警防隊、救急隊など多岐にわたります。</p> <p>現在、女性消防士は全体約600人いる消防士のうち22人とまだ少ないですが、今年度4人入隊するなど、その数は年々増えてきています。</p> <p>また、女性同士で意見交換をする機会を設け、性差なく働きやすい職場の環境づくりに努めています。</p> <p>男女で仕事の内容の違いはありませんし、火災の現場などは3~4人で班をつくり、互いに協力し合い業務にあたっています。</p> <p>私は、誰かの役に立ちたい、大切な人を守りたいとの思いから、消防士を志しました。職務を全うするために、日々トレーニングに励んでいます。</p>
沼津警察署	
	<p>沼津警察署管内では、13か所の交番、5か所の駐在所を含めて、現在約350人が勤務しています。</p> <p>私が警察官を志したきっかけは、小学校6年生のときに見たテレビドラマでの憧れからです。警察官になるためには体力が必要だと知り、剣道を習い、法律を学ぶために法学部へ進学しました。</p> <p>女性警察官の割合は、例えばこのクラスで例えると、23人のうち2人程度とまだまだ少ないですが、業務において、年々女性の必要性は増えています。例えば、痴漢被害にあった女性の話を聞く、女性の犯人を留置所で見張り、身体検査をするなど、女性が必要な場面は様々です。</p>